

## 感染症定期報告感染症別文献一覧表(2015/4/1~2015/7/31)

ID	感染症 (PT)	出典	概要
1	B型肝炎	J Med Virol.87(2015)589-600	日本におけるB型肝炎ウイルス(HBV)再活性化の報告。HBV再活性化の既知のリスク因子を有しない高齢患者2例においてHBVの再活性化が報告された。
2	C型肝炎	J Med Virol. 87(201)424-4275	エジプトにおけるC型肝炎ウイルス(HCV)の配偶者伝播に関する報告。慢性HCV-4感染患者の健康な配偶者50例を対象に、末梢血単核細胞中のHCV-RNAを調査した結果、オカルトHCV-4感染は4%であり、特に性感染症歴を有する者陽性率は有意に高かった。婚姻期間、性交頻度およびALT値とオカルト感染の陽性率の間には有意な関連は認められなかった。
3	E型肝炎	Emerg Infect Dis. 20(2014)1925-1927	フランスにおけるE型肝炎ウイルス(HEV)の報告。フランスにおいて生のブタレバーを含む4つの異なる分類の食品394サンプルについてHEV-RNA検出率を調査したところ、各分類の3~30%からHEV-RNAが検出され、系統解析の結果、ヒトとブタのHEV配列には高度の相同性が認められた。
4	E型肝炎	第89回日本感染症学会総会学術講演会(2015.4.16,17)	国内におけるE型肝炎の報告。2007年1月から2014年11月までにE型肝炎として届出された患者606例について、自由記載欄に記入されたテキスト情報により感染原因を推定した結果、主な感染経路は、ブタやイノシシなどの肉類の喫食であった。2012年以降はブタ肉類の喫食を感染源とする患者が増加しており、特に2013年、2014年は年間20件以上であった。
5	HIV感染	<a href="http://www.fda.gov/downloads/BiologicsBloodVaccines/GuidanceComplianceRegulatoryInformation/Guidances/Blood/UCM446580.pdf">http://www.fda.gov/downloads/BiologicsBloodVaccines/GuidanceComplianceRegulatoryInformation/Guidances/Blood/UCM446580.pdf</a>	2015年5月、FDAより「輸血関連HIV感染症のリスク低減のための勧告の改定(業界向けガイダンス草案)」が発出された。男性と性交渉を持った経験のある男性供血者については無期限に供血延期とすることと勧告されていたが、12ヵ月間の供血延期に改定された。
6	HIV感染	<a href="http://www.upi.com/Health_News/2015/02/14/Aggressive-new-HIV-stain-detected-in-Cuba/2421423945549/2015/02/14">www.upi.com/Health_News/2015/02/14/Aggressive-new-HIV-stain-detected-in-Cuba/2421423945549/2015/02/14</a>	キューバにおいて、HIV新規株により、感染後3年以内にAIDSを発症する患者が報告されている。CRF19と名付けられた変異株はHIV亜型A、DとGの組換え体であり、キューバでより広範囲に広まっている。
7	後天性免疫不全症候群	ProMED-mail 20141130.3000590	ロシア、東欧、中央アジアにおけるHIVの報告。WHOとEuropean Centre for Disease Prevention and Controlによると、2013年、東欧と中央アジアでは136,235例がHIVに感染し、2012年から80%増加したと報告されている。このうち80,000例がロシアで発生している。ロシアにおけるHIV/AIDS症例は急速に増加している。
8	インフルエンザ	CDC MMWR 64(2015) 583-590	2014年9月28日から2015年5月23日までに、インフルエンザウイルスA(H3N2)変異型(H3N2v)感染が1例、A(H1N1)変異型(H1N1v)感染が2例報告された。
9	インフルエンザ	MMWR. 64(2014)206-212	米国における2014年9月28日~2015年2月21日のインフルエンザ活動性に関する報告。WHOおよびNational Respiratory and Enteric Virus Surveillance Systemの共同研究室270カ所において呼吸器検体486,004件が検査され、98,680検体(20.3%)がインフルエンザ陽性を示した。このうち93.1%はA型、6.9%はB型であった。9月28日以降、2例の新型インフルエンザウイルスヒト感染例が報告され、1例はウィスコンシン州にてA(H3N2)変異型、1例はミネソタ州にてA(H1N1)変異型であり、いずれも豚との接触歴のある患者から分離された。
10	インフルエンザ	Weekly epidemiological record. 90(2015)109-120	2014年9月24日から2015年2月23日までに、米国においてインフルエンザA型(H1N1)およびインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染が各1例報告されている。いずれの患者も発症前にブタと接触していることが報告されている。スウェーデンにおいて、インフルエンザA(H1N2)変異型(H1N2v)感染が2例報告されている。

ID	感染症 (PT)	出典	概要
11	鳥インフルエンザ	J Virol. 89(2015)3534-3541	中国におけるインフルエンザA(H10N8)に関する報告。中国南昌市の活家禽市場でニワトリから分離された全てのH10N8のHA遺伝子がヒトH10N8分離株と共に単系統群を形成したことから、本ウイルスのニワトリからヒトの感染が示唆された。
12	鳥インフルエンザ	Microbes Infect. 17(2015)48-53	中国におけるインフルエンザA(H10N8)の報告。2013年12月から2014年2月の間、南昌の活家禽市場、飼育場、輸送車、野鳥生息域から全1,036検体(排出腔、排泄腔、汚染された環境や水から得た検体)を採集した。調査した検体のうち23.84%がトリインフルエンザ陽性であった。N8陽性を示したのは54検体であり、H10とN8と共に陽性を示したのは21検体であった。
13	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20150215.3168313	中国におけるインフルエンザA(H7N9)型の報告。Health and Family Planning Commission of Guangdong Province(GDHFPC)は、South China Sea coast ProvinceにおけるH7N9のヒト症例を報告した。2015年2月14日時点でH7N9のヒト症例573症例が報告されている。
14	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20150215.3168314	エジプトにおけるインフルエンザA(H9N2)型の報告。2015年2月10日、エジプトのアスワン行政区域における定期的国家トリインフルエンザサーベイランスシステムで、H9N2ヒト症例が検出された。症例は3歳男児であり、家禽との接触歴が確認されている。エジプトでは2011年からH9N2陽性の家禽が確認されているが、ヒト症例が確定したのはこれが初めてである。
15	鳥インフルエンザ	<a href="http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20150106CumulativeNumberH5N1cases_corrected.pdf?ua=1">http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20150106CumulativeNumberH5N1cases_corrected.pdf?ua=1</a>	WHOに報告されたインフルエンザA(H5N1)型の症例数および死亡数。2014年、カンボジアにおいて症例9例、死亡例4例、中国において症例30例、エジプトにおいて症例30例、死亡例9例、インドネシアにおいて症例2例、死亡例2例、ベトナムにおいて症例2例、死亡例2例が報告され合計症例数は45例、死亡例17例である。
16	ウエストナイルウイルス感染	Transfusion. 54(2014)3232-3241	ウエストナイルウイルス(MNV) RNAが血漿中から消失してから数ヶ月後の全血中における残存について調べたところ、全血の赤血球画分にMNV RNAが持続的に存在することが明らかとなり、全血中における残存濃度は当初の血漿中ウイルス量を反映していることが示された。
17	脳炎	ProMED-mail 20141130.3001027	米国における新種ウイルス(BoAstV-NeuroS1)の報告。California州において、ウシの脳炎に関連した新種のウイルス(BoAstV-NeuroS1)が発見された。このウイルスは遺伝子解析によりアストロウイルスに分類された。32例のウシのうち、3例の脳組織でこのウイルスが検出された。
18	口内炎	OIE 2014/09/19	米国におけるウシの水疱性口内炎の報告。Texas州およびColorado州の農場においてウシの水疱性口内炎ウイルス(血清型New Jersey)感染が報告された。
19	口内炎	OIE 2014年12月12日	米国におけるブタの水疱性口内炎の報告。Colorado州の農場においてブタの水疱性口内炎疑似例3例が報告された。
20	エボラ出血熱	Clin Infect Dis. 60(2015)974-975	エボラウイルスは回復後の血液、糞便、嘔吐物から検出されなくなった後も、精液、腔分泌液、母乳からは検出される。精巣や乳腺等にウイルスが持続する理由としてはこれらの組織が免疫的に隔離された部位であり、ウイルス排除が遅れるとの報告。
21	エボラ出血熱	Public health England 19 September 2014	2014年8月26日、WHOはコンゴ民主共和国におけるエボラウイルス疾患(EVD)のアウトブレイク1件の報告を受けた。初発症例は野生動物を処理した妊婦であり、妊婦に接触した多数の医療従事者が感染した。2014年9月15日時点で、EVDに臨床的に適合する症例は死亡例40例を含む71例で、うち27例は確定例であった。
22	コンゴ・クリミア出血熱	Int J Infect Dis. 33(2015)120-122	ロシアにおけるクリミア・コンゴ出血熱の報告。2011年5月にロシアでクリミア・コンゴ出血熱患者の治療を行った8名の医療従事者において院内感染が発生した。うち2名については患者との接触がなく、人工呼吸器使用中の患者の部屋に短時間滞在している間に空気伝播によって感染したことが疑われている。
23	コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail 20141214.3032081	インドにおけるクリミア・コンゴ出血熱の報告。2013年7月、Amreli districtにおけるクリミア・コンゴ出血熱のアウトブレイクでは6例が感染し、そのうち2例が死亡した。2010年12月~2012年は8例が感染し、うち7例が死亡した。

ID	感染症 (PT)	出典	概要
24	コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail 20150131.3134403	インドにおけるクリミア・コンゴ出血熱の報告。2015年1月29日、発熱を呈した女性が搬送先のNew Deliの病院にてクリミア・コンゴ出血熱により死亡した。本症例はインドにおけるクリミア・コンゴ出血熱による4例目の死亡例である。
25	コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail 20141215.3033209	パキスタンにおけるクリミア・コンゴ出血熱の報告。Karachiで2例のクリミア・コンゴ出血熱症例が、Jinnah Postgraduate Medical Centerに入院した。保健当局によると2014年クリミア・コンゴ出血熱で6例が死亡している。
26	狂犬病	ProMED-mail 20141028.2909861	インドにおける狂犬病の報告。インドのPune Districtの少年が狂犬病で死亡し、Pune Districtにおける2014年の死亡例は21例となった。本症例は数日前にイヌによる咬傷を受けたが、狂犬病ワクチンや免疫グロブリンの接種を受けていなかった。
27	狂犬病	ProMED-mail 20150125.3117212	米国における狂犬病の報告。New Yorkにおいてデンマーク産のウシが狂犬病陽性と判定された。ヒト4例がこのウシと直接接触していた。
28	狂犬病	KRQE NEWS 13. May.19(2015)	米国における狂犬病の報告。2015年4月、米国ニューメキシコ州南部においてキツネに咬まれたヒトから狂犬病ウイルスの新種の株が検出された。このウイルスはコウモリにおいて確認された狂犬病ウイルス株の近縁であることが示された。
29	チクングニヤウイルス感染	CDC Travelers' Health 2015.2.18	サモアにおいて初めてチクングニヤの地域感染症例が報告された。サモア保健省によると2015年1月11日時点で4,400以上の症例が報告されている。
30	デング熱、チクングニヤウイルス感染、フラビウイルス感染	Euro Surveill. 19(2014) pii;20929	2012年1月～2014年9月で、太平洋地域で、デングウイルス、チクングニヤウイルス、ジカウイルスの新規アウトブレイクが28件報告された。これらの蚊媒媒介性疾患の流行性は以前よりも頻繁に広範囲で発生しており、現在の流行はこの先数年間続く可能性があるとの報告である。
31	デング熱	Emerging infectious disease journal	日本におけるデング熱の報告。2014年8月、70年ぶりに国内発生したデング熱症例が発生し、2014年10月31日までに計160例が報告された。国立国際医療研究センターで確定診断された19例について分析したところ、18例がデングウイルス(DENV)-1と確認され、3例の患者の血清におけるDEN-1エンベロープタンパク質系統発生解析で、本アウトブレイクの初発症例患者から得られた株と100%の相同性を有することが明らかとなった。
32	デング熱	PHE Emerging Infection Monthly Summarise (2014年12月19日付)	中国および台湾におけるデング熱の報告。中国および台湾においてデング熱の症例数の増加が報告されている。
33	デング熱	ProMED-mail 20141013.2856793.	インドにおけるデング熱の報告。2014年インドにおけるデング熱症例は、Delhiで98例、Mumbaiにおいて8月65例、7月52例、9月117例で死亡例は5例であった。Puneで2,475例、Odisha stateで2,854例、死亡例7例であった。
34	デング熱	Transfusion. 54(2015)2924-2930	供血者の血漿ユニットにデングウイルス(DENV)を添加し、アモトサレン/UV処理を実施すると、血漿中のDENVの不活化が確認された。
35	ニパウイルス感染	Emerg Infect Dis. Available from: <a href="http://wwwnc.cdc.gov/eid/article/21/2/14-1433_article">http://wwwnc.cdc.gov/eid/article/21/2/14-1433_article</a>	2014年、フィリピン南部の2つの村において、ヘニパウイルス感染症による重症疾患がヒトおよびウマに発生した。患者は17例であり、急性脳炎11例、重症インフルエンザ様疾患5例、髄膜炎1例で、急性脳症の致死率は82%であった。17例のうち7例はウマの屠殺への関与および馬肉の摂取歴があり、3例が馬肉の摂取歴があった。5例はウマとの接触はなかったが、他の患者との接触があった。ヒト症例と同時期に、同村において10頭のウマが死亡し、9頭に神経学的兆候が認められた。
36	灰白髄炎	PHE Emerging Infections Monthly Sammaries 2014年12月19日付	2014年5月5日、ポリオは国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)であると宣言され、325例がWHOへ報告されている。2014年は9ヶ国が報告しており、パキスタン276例、アフガニスタン24例、ナイジェリア6例、赤道ギニア5例、ソマリア5例、カメルーン5例、イラク2例、シリア1例、エチオピア1例が報告されている。
37	口蹄疫	ProMED-mail 20141219.3043366	韓国におけるブタの口蹄疫の報告。2014年12月19日、韓国で4例の口蹄疫が発生した。最初の確定例が発生してからすでに14,491頭が処分されている

ID	感染症 (PT)	出典	概要
38	口蹄疫	ProMED-mail 20150208.3152424	韓国におけるブタの口蹄疫の報告。2015年2月7日、Ministry of Agriculture は、seoulの80km西にあるIcheonの牧場での1例の口蹄疫感染例について発表した。South Chungcheong provinceの牧場でも2例の感染例が確認されている。
39	口蹄疫	OIE 2014年9月11日付け	韓国におけるブタの口蹄疫の報告。2014年7月27日および8月6日、Gyeongsangbuk-doおよびGyeongsangnam-gunにおいて口蹄疫(血清型O)のアウトブレイクが発生した。ブタにおいて疑い例3,292例、症例1,317例、処分例1,317が報告されており、感染源は不明もしくは結論に到達していない。
40	口蹄疫	ProMED-mail 20141204.3010701	韓国におけるブタの口蹄疫の報告。2014年12月4日、Agriculture Ministry は、seoulの東南にあるJincheon countryにある養豚場でブタの口蹄疫感染例を確認したと発表した。
41	口蹄疫	OIE 2014年12月5日付け	韓国におけるブタの口蹄疫の報告。2014年12月3日Gyeongsangbuk-doにおいて口蹄疫のアウトブレイクが発生した。ブタにおいて疑い例15,884例、症例10,115例、処分例10,115例が報告されており、感染源は不明もしくは結論に到達していない。
42	口蹄疫	ProMED-mail 20150107.3077530	中国における口蹄疫の報告。2015年1月6日、Ministry of Agricultureは中国東部のAnhui Provinceでブタが口蹄疫(血清型A)に感染していることを発表した。556例のブタからウイルスが検出されそのうち314例が1月2日に死亡した。感染したブタおよび一緒に飼育されていたブタ56例が処分された。
43	口蹄疫	OIE 2014年11月25日付け	中国におけるブタの口蹄疫の報告。2014年11月18日、Jiangsuにおいて口蹄疫(血清型O)のアウトブレイクが発生した。ブタにおいて疑い例34例、症例4例、処分例35が報告されており、感染源は不明もしくは結論に到達していない。
44	口蹄疫	OIE 2014年9月15日付け	ロシアにおける口蹄疫の報告。2014年9月11日、Zabajkal Skij Krayにおいて口蹄疫(血清型A)のアウトブレイクが発生した。ウシにおいて疑い例528例、症例104例、処分例93例、ヒツジおよびヤギにおいて疑い例151例、ブタにおいて疑い例142例が報告されている。感染源は不明もしくは結論に到達していない。
45	サイトメガロウイルス感染	JAMA Pediatr.168(2014)1054-1062	超低出生体重児における抗体陰性・白血球除去血液製剤の輸血および母乳によるサイトメガロウイルス(CMV)伝播のリスクを調査するため、2010年1月～2013年6月、ジョージア州アトランタ市の3ヶ所の新生児集中治療室において、前方視的・他施設出生コホート研究が実施された。CMV抗体陰性・白血球除去血液製剤の輸血によるCMV伝播は認められず、主な出生後CMV感染源は母乳であることが明らかとなった。
46	オルソポックスウイルス感染	N Engl J Med. 372(13)(2015)1223-1230	グルジアにおいて、2013年、天然痘ワクチン接種歴のない男性2例が、オルソポックスウイルス曝露歴があるウシとの接触後に新種のオルソポックスウイルスに感染した。また、グルジア国内の他の地域で、2010年に炭疽感染の疑いとされていた症例の保管検体でオルソポックスウイルス感染が確認された。これらのことから、動物との接触後に皮膚病変が認められた場合、オルソポックスウイルス感染の可能性も考慮されるべきである。
47	コクサッキーウイルス感染	Am J Transplant. 15(2014)555-559	オーストラリアにおけるコクサッキーウイルスB3(CVB3)感染の報告。オーストラリア在住の若年成人ドナーから、肝臓、腎臓、膵臓、肺が摘出され、4例のレシピエントに移植された。レシピエントにおいてALTの上昇が見られたことから、感染症の調査を実施したところ、ドナーおよび評価可能な3例のレシピエントのうち2例がCVB3ウイルス血症であることが確認された。ドナーとレシピエントから分離されたCVB3株の塩基配列は相同性を示した。
48	ヘルペスウイルス感染	Transpl Infect Dis.17(2015)21-24	臍帯血(UCB)ドナーの血漿及びバフィーコート中のHHV-7の存在とウイルス量を評価するためlight-upon-extension(LUX)リアルタイムPCRが開発された。イランの病院で825例のUCBドナーを調査したところ、3.64%(30/825)からHHV-7が検出された。本方法はUCBドナーのHHV-7感染を検出するために有用であるとの報告。

ID	感染症 (PT)	出典	概要
49	中東呼吸器症候群	WHO 17 December 2014 http://www.who.int/csr/don/17-december-2014-mers/en/	2014年11月20日から12月7日の間に、サウジアラビア王国のNational IHR Focal Pointより、死亡4例を含むMERS-CoV感染の追加の検査確定例11例がWHOに報告された。このうち、Rafha city出身の62歳男性は、頻りにラクダおよびヒツジと接触しており、ラクダ製品およびヒツジ製品を摂取していた。なお、世界では、少なくとも死亡343例を含むMERS-CoV感染症の検査確定例計938例がWHOへ報告されている。
50	中東呼吸器症候群	WHO 5 February 2015 http://www.who.int/csr/disease/coronavirus_infections/mers-5-february-2015.pdf?ua=1	2015年2月5日時点で、少なくとも死亡356例を含むMERS-CoV感染のヒト検査確定例がWHOへ報告された。現在までに、中東で本疾患の影響を受けた国は、エジプト、イラン、ヨルダン、クウェート、レバノン、オマーン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦及びイエメンであり、アフリカでは、アルジェリア及びチュニジア、欧州ではオーストラリア、フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、オランダ、トルコ及び英国、アジアではマレーシア及びフィリピン、北米では米国である。オーストリアとトルコは、2014年6月以降に新たに影響を受けた国である。2015年1月にはオマーンのDakhelyia regionで家族クラスターが報告され、初めての死亡症例である男性は、ラクダ、ヤギ、ヒツジとの接触があったことを報告していた。
51	中東呼吸器症候群	WHO 23 February 2015 http://www.who.int/csr/don/23-february-2015-mers-saudi-arabia/en/	2015年2月8日から2月19日の間に、サウジアラビア王国のIHR national Focal Pointより、MERS-CoV感染の追加の症例43例(死亡14例を含む)がWHOに報告された。このうち、Buridah city出身の42歳男性は、ヒツジとの接触歴があった。
52	ウイルス感染、細菌感染	ABC NewsLetter November 19, 2014	FDAは、血小板と血漿製剤の病原体低減化処理を行うためのIntercept Blood Systemを承認した。本システムは2002年以降ヨーロッパにおける血小板処理のために承認されており、20ヶ国の100施設以上で使用されている。
53	ウイルス感染	Am J Trop Med Hyg. 91(2014)1250-1253	エチオピアにおける急性熱性疾患(AFI)の報告。2011年8月エチオピアのアファール州で、発熱、悪寒、頭痛および筋肉痛の急な出現を特徴とするマリア検査陰性であるAFIのアウトブレイクが報告された。AFI患者のうち29例からの血液サンプルについて核酸の大規模シーケンシングを実施した結果、17サンプル(59%)がシチリア型サシチョウバエ熱ウイルス(SFSV)陽性であった。AFIアウトブレイクの原因としてSFSVが示唆されたとの報告である。
54	ウイルス感染	Am J Trop Med Hyg. 91(2014)589-590	ペルーの有熱性患者から分離されたこれまでの未同定ブニヤウイルスを遺伝解析し、CaraparuウイルスのS断片、L断片と未発見のグループCウイルスのM断片をもつ新たなリアソータントウイルスを同定した。これはCaraparuウイルスとは血清学的に大きく異なる新しいリアソータントウイルスが存在することを意味する。
55	ウイルス感染	Emerg Infect Dis. 20(2014)1880-1882	韓国における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の報告。韓国では2013年に35例のSFTS患者が発生し、環境温度が有病率に影響することが示唆された。また系統発生解析により、今回の韓国のSFTSウイルス分離株の多くは日本の分離株に近縁であることが示された。
56	ウイルス感染	Emerg Infect Dis. 21 (2015) 359-361	2013年12月、仏領ポリネシアでのジカウイルスのアウトブレイク中に、タヒチにおいて血清液症の患者の精液からジカウイルスが分離された。
57	ウイルス感染	HPS WEEKLY REPORT. 49(2015)80-81	ドイツにおけるボルナウイルスの報告。ドイツにおいて脳炎で死亡した高齢男性3例の脳組織から新たな型のボルナウイルスが検出された。患者は62~72歳の男性でカワリリスを繁殖させていた。
58	ウイルス感染	Med J Aust. 202(2015)267-269	オーストラリアにおける輸血によるロスリバーウイルス(RRV)感染の報告。2014年5月、オーストラリア赤十字血液センターは、2014年3月に供血し2日後に急性RRV感染症と診断された供血者の情報を入手した。当該供血者からの赤血球製剤は2014年3月に骨髓異形成症候群の患者に輸血され、受血者のRRV感染が確認された。これは、輸血伝播RRV感染の初の報告と考えられる。

ID	感染症 (PT)	出典	概要
59	ウイルス感染	Transfusion. 55(2015)154-163	中国において、健常ドナーから採取された血漿サンプル中のヒト・ボカウイルス(HBoV)を定量的PCRにて調査したところ、HBoV有病率は9.06%であり、系統発生解析により、HBoV遺伝子型1が流行遺伝子型であることが明らかになった。
60	ウイルス感染	Virusdisease. 25(2014)381-384	トルコにおけるはじめての偽牛痘ウイルスの報告。トルコ南西部の村において、ウシの乳房と乳首に膿瘍性結節性腫脹と膿疱が認められた。またこの村で搾乳を行う女性の手に同様の病変が認められた。病変が認められたウシの滲出物から偽牛痘ウイルスが検出された。
61	ウイルス感染	mBio. 6(2015)e00593-15	米国において、ブタ流行性下痢の集団発生がみとめられた仔ブタの下痢糞便と乾燥ブタ血液飼料から、新規の哺乳類オルトレオウイルス3(MRV3)が分離、同定された。
62	クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis. 21(2015)750-759	米国における異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の報告。患者は発症の10年以上前に、英国から輸入されたBSE汚染牛肉をクウェートまたはロシアにて摂食した可能性が示唆されたとの報告。
63	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 201502143.3166266	カナダにおけるBSEの報告。2014年2月4日、BSEサーベイランスプログラムの一環として検体採取したカナダのアルバータ州の歩行困難な肉用繁殖雌ウシにおいて、定型BSE(C-BSE)が確認された。
64	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20150214.3175370	カナダにおけるBSEの報告。2014年2月4日、BSEサーベイランスプログラムの一環として検体採取したカナダのアルバータ州の歩行困難な肉用繁殖雌ウシにおいて、定型BSE(C-BSE)が確認された。
65	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE 2015年2月18日	カナダにおけるBSEの報告。2014年2月4日、BSEサーベイランスプログラムの一環として検体採取したカナダのアルバータ州の歩行困難な肉用繁殖雌ウシにおいて、定型BSE(C-BSE)が確認された。
66	炭疽	ProMED-mail 20141014.2863635	米国における炭疽の報告。Texas州 Jim Wells Countryのウシにおいて炭疽が確認された。1950年代後半以来、Jim Wells Countryにおける初めての症例であり、2014年においてはTexas州でのウシにおける炭疽の初めての症例である。
67	炭疽	ProMED-mail 20141214.3031982	カナダにおける炭疽の報告。カナダSaskatchewan hamlet中東部において、1例のウシが炭疽により死亡した。その他2例のウシの死因についても炭疽が疑われている。
68	結核	ProMED-mail 20141129.2998215	インドにおける結核の報告。政府により収集されたデータによると、2013年の結核症例は1,416,014例であり、多剤耐性結核の症例数は23,157例であった。
69	結核	ProMED-mail 20150115.3093307	米国における結核の報告。Texas Animal Health Commissionは、Texas北部の2ヶ所の酪農場でウシ結核を確認した。感染した群れは隔離された。
70	クリプトスポリジウム感染	MMWR. 63(2014)1185-1188	米国におけるCryptosporidium感染の報告。2013年3月10日、Kansas州において、ホルスタイン仔ウシ約350頭を運送中のトラックの横転事故が発生した。仔ウシは死亡または車外へ投げ出され、生存していた仔ウシのほとんどは歩くことができず、大半が下痢をしていた。この事故に対応した15例のうち6例にクリプトスポリジウム症が認められた(確定例2例、可能性例4例)。疾患は仔ウシの運搬および糞便との接触と関係すると考えられた。

ID	感染症 (PT)	出典	概要
71	サルモネラ症	PLoS One. 10(2015)e0128349	2013年1月から4月までに、ドイツのザクセン・アンハルト州において、O4非凝集性ネズミチフス菌によるサルモネラ感染61例が報告された。感染前の3日以内に生の豚ミンチ肉を摂食したことが感染症に関連していることが示された。
72	ペスト	MMWR. 64(2015)429-434	米国における肺ペストの報告。2014年6月発熱、咳嗽を呈した患者Aが肺ペストと診断された。患者Aの飼っていたイヌもペスト菌に陽性であった。このイヌに接触した2例(患者B,C)に肺ペストが認められ、さらに患者Aおよびイヌに接触した患者Dにおいても肺ペストが認められた。
73	ペスト	ProMED-mail 20141005.2832636	中国におけるペストの報告。2014年10月1日、Gansu province北西部において男性1例がペストにより死亡した。本症例は、モルモットでのペストが拡大している牧草地でヒツジを放牧していた。
74	肺ペスト	ProMED-mail 20141017.2874953	中国における肺ペストの報告。2014年10月17日Gansu Health and Family Planning Commissionは、肺ペスト症例1例を報告した。この症例は死亡前に発熱及び息切れを呈していた。
75	ブルセラ症	ProMED-mail 20141207.3016488	米国におけるブルセラ病の報告。Montana州においてウシのブルセラ病が確認された。州の指定区域でウシを放牧している生産者が実施した検査で判明した。
76	リステリア症	Blood Transfus. 12(2014)611-614	イタリアにおけるListeria monocytogenes (L.monocytogenes) 感染の報告。急性骨髄性白血病患者がアフレーシス血小板製剤1本の輸血中に悪寒、頭痛、吐き気を呈し、患者の血液および脳脊髄液培養の結果L.monocytogenes血清型1/2aが検出された。患者に輸血された血小板製剤の残余を培養したところ、同菌が確認されたが、供血時の細菌培養検査では細菌は検出されなかった。当該供血者再来後に再検査した結果、同菌が確認された。当該供血は、供血から輸血までの4日間にバック内で同菌が増殖したと考えられるとの報告。
77	Q熱	ドイツ BfArM 医薬品の安全性に関する報告書(2014年12月 Issue4)	ドイツおよびカナダにおいて3例のQ熱が報告された。これらの症例はドイツにてヒツジの胎児新鮮細胞の筋肉内投与を受けていた。
78	ヒトアナプラズマ症	Transfusion. 54(2014)2828-2832	米国におけるAnaplasma phagocytophilum (AP) 感染の報告。外傷で入院した41歳男性が輸血25本を受けた後、AP陽性と判明した。関連する白血球除去赤血球及び血小板製剤の供血者12例を調査したところ、血小板製剤の供血者1例について、AP流行地域で、ダニ刺咬歴があり、AP-IgGが持続的に高値陽性、IgM陰性、PCR陽性であった。
79	細菌感染	ProMED-mail 20120404.3275851	中国における新規のアナプラズマ属種によるヒト感染の報告。中国において2ヶ月以内のダニ刺咬歴のある患者の血液サンプル447例について調査したところ、28例において新規アナプラズマ属種による感染が確認された。系統発生解析の結果、既知のアナプラズマ属種とは異なるものであり、Anaplasma capraと命名された。Anaplasma capraはヤギにおいても確認されている。
80	細菌感染	Lancet Infect Dis. 2015 Mar 27. S1473-3099(15)70051-4	中国における新規のアナプラズマ属種によるヒト感染の報告。中国において2ヶ月以内のダニ刺咬歴のある患者の血液サンプル447例について調査したところ、28例において新規アナプラズマ属種による感染が確認された。系統発生解析の結果、既知のアナプラズマ属種とは異なるものであり、Anaplasma capraと命名された。Anaplasma capraはヤギにおいても確認されている。
81	細菌感染	Transfusion. 55(2015)636-646	フランスにおける輸血伝播細菌感染の報告。フランスでは2000~2008年に1,800万の赤血球製剤、194万の血小板濃厚液、244万の新鮮凍結血漿が輸血された。ヘモビジュランスシステムにより報告された輸血伝播細菌感染の発症率は、全血製剤、血小板濃厚液、赤血球製剤それぞれ100万件あたり2.45件、24.7件、0.39件であった。輸血伝播細菌感染の87%が血小板濃厚液で発生していた。

ID	感染症 (PT)	出典	概要
82	アメリカ・トリパノ ソーマ症	ABC NewsLetter November 21, 2014	2008～2012年、ヒューストンにおいて供血者のシャーガス病のスクリーニングを行ったところ、確認されたT.Cruzi感染者17例のうち7例(41%)がシャーガス病による心疾患と一致する症状を呈していた。
83	マラリア	ProMED-mail 20140824.2718480	インドにおけるマラリアの報告。2014年、インドのChhattisgarh Stateは国内で2番目に多いマラリア症例数を記録し、国内のマラリア症例全体の約13%を占めている。2014年1～6月、Chhattisgarh Stateは38,781症例のマラリア症例を報告した。同時期のインド全体での症例数は319,000例(死亡107例)であった。